

県内観光事業者の業況聞き取り調査

業種	地域	12月入込 (例年比)	忘新年会 (例年比)	年末年始入込 (例年比)	特記事項
宿泊施設	村山	10～90%	数%～30%	30～100%	<p><u>12月入込</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・徐々に県外客も増加してきている。 ・コロナも落ち着いていることから、ほぼ例年並みに戻ると見込んでいる。このままの状況が続けば、12月以降、例年並みに戻るのではないかと。 ・回復傾向にあるが、忘年会が少ないため、例年を下回る見込み。 ・週末の入込は良いが、平日は少ない。 <p><u>忘新年会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の忘新年会は見送りが相次いでいる。実施するところでも少人数での開催となっている。 <p><u>年末年始入込</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ満室となっている。 ・ほぼ満室だが、1部屋当たりの人数を減らしているため、例年並みとはならない。
	最上	20～60%	10%	60～100%	
	置賜	35～100%	50%	60～80%	
	庄内	60～100%	10～40%	30～90%	

業種	12月入込 (例年比)	年末年始入込 (例年比)	特記事項
立寄施設	40～120%	50～90%	<p><u>12月入込</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋に引き続き教育旅行による入込があり、全体の入込減少をカバーできている。 ・団体旅行は教育旅行以外ほとんどないが、個人客の動きが活発で、団体客の減少をカバーしている。 ・インバウンド客が全く見込めない中、教育旅行の立ち寄りで何とか持ちこたえている。 ・上旬は入込が少なかった。中旬以降回復し、年末もコロナが落ち着いていればさらに上回る入込を見込んでいる。 ・GoToトラベルが再開しないため、昨年に比べて大幅な減少となっている。 <p><u>年末年始入込</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言が出た昨年よりは増加を見込むが、例年比では若干下回ると見込んでいる。(多数) ・混雑を避けて帰省の時期を早めるケースがあり、年末年始は例年を下回る見込み。 ・初売り等のイベントは例年どおりの実施を見込んでいる。
旅行会社	60～80%	—	<ul style="list-style-type: none"> ・隣県にとどまらず、首都圏からの旅行客も徐々に増加してきている。 ・安価で販売を始めた個人パック旅行は堅調だが、バス・飛行機を利用した募集型ツアーは反応が鈍い。 ・忘年会は官庁、民間ともに宿泊を伴うものは少なく、会食のみが若干ある程度。 ・年末年始の県内から県外への宿泊ツアーは相変わらず反応が鈍い。 ・県民が割引慣れしてきており、宿泊施設の単価が上がってきていることと相まって県内客の動きが鈍くなってきている。
交通事業者	100% (バス協会) 75% (ハイヤー協会)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染が落ち着き、予約取り消しが少なくなってきた。(県バス協会) ・県外へのバス移動の問い合わせも増えており、徐々に動き出している。(県バス協会) ・オミクロン株の感染状況によっては、前年を下回る可能性もあると考えている。(県バス協会) ・今秋以降、需要が回復しつつある。(県ハイヤー協会)